

平成28年度 津山市立（高田）小学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	算数・数学AB・・・割合・図形の内容の習熟 国語AB・・・出題された条件に合わせて適切な表現ができる	
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況	来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全 体の 取組	「問題データベース」を活用し、課題のあった単元の類似問題や単元の問題を実施する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・補充学習等で課題のあった内容、単元を把握し、宿題等に取り入れて課題解決に努めた。 ・学習内容に合わせて問題を実施し、単元の終わりには活用問題に取り組んだ。 ・読解問題に取り組み、活用する力をつける。85%以上
①	<ul style="list-style-type: none"> ○全学級、国語を中心に授業研究を行い、学習意欲とともに読解力や表現力を高める授業作りを推進する。 ・授業のパターンを作り子どもたちに分かりやすい授業を進める。 ・各教科の学習の仕方を身につけ、自分で学習を進めることができる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全校で授業スタイルを統一でき、自ら学ぶ力がついてきた。 ・正しく読み取り、表現する力をつけるよう音読や視写の時間を全校でとるようにした。 ・読み取る力に個人差がある。
②	<ul style="list-style-type: none"> ○児童アンケートを継続して行い、学習や生活に対する意識付けを行うと共に自信がもてるようにする。 ○「どんどんチャレンジ」や補充学習を行い、基礎学力の定着を図る。補充学習を行い、個別指導に取り組む。 ○単元別到達度テストや問題データベースの活用問題を全学年実施し、活用の力をあげる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「どんどんチャレンジ」や補充学習を計画的に行い、基礎学力を向上させることができた。 ・到達度テストや活用問題を利用し、活用力をつけるようにした。 ・問題を的確に読み、出題された条件に合わせて適切に書くことに課題があるので、苦手な内容に取り組み正答を増やす。90%以上
③	<ul style="list-style-type: none"> ○「えがおいっぱい高田っ子カード」の取組で、家庭と協力して家庭学習の時間を増やす。 ○小中連携の取り組みの継続（チャイム・そうじ・あいさつことばづかい・学習規律） 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「高田っ子カード」で家庭も学習時間を意識でき、家庭学習ができている子が増えた。 ・めあてを守り、落ち着いた生活ができています。 ・「あいさつ回り」など児童からの取り組みで自分からあいさつを行う児童が増えた。

※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」